

【第3回映像機材のグループディスカッション】

2014年7月10日 場所:株式会社エムシーコミュニケーションズ 会議室



〈最新機材を触ってレポートする〉グループディスカッション。第3
驛となる今回は、業務用AVCHDハンディカムコーデの最新版に
なるNX3Jを触って見た。特徴はソニー独自の全画素超解像
度ズーム40倍とLEDライト200Lux(1m)を搭載していること。
HXR-NX3(定価¥360,000+税)基本撮影時重量(2.56Kg)
NP-F770・レンズカバー付きフード・マイク[ECM-XM1]含む。
参加者は、井上、岩波、大木、武藤、島田、菅の6名。
最初に概要をお伝えしよう。

2014年1月発売されて人気急上昇のNX3、今までの業務用AVCHDハンディカムの機能を踏襲しながらも、
1/3インチ3CMOSとしては、価格を抑えた仕様となっている。外形、重量とも、これまでのハンディカムサイズと同じであ
る。光学20倍(35mm換算、広角側 28mm)のズームレンズ、1/3インチ3CMOSの映像エンジンを搭載して、
2枚のSDカードに24MのAVCHD(1920-1080)をリレー記録または、同時記録できる。MP4・DVCAM(SD)にも対
応している。(XAVCにも対応している)

記録フォーマットは、図の通り。(図1)

記録の振り分けは図の通り。(図2)

メニューで切り替える40倍全画素超解像度デジタル
ズームは(35mm換算28.8mm~1152mm)。最低被
写体との距離は、望遠側で80cm、広角側1cm。被
写体最低照度は、1.2Lux。カメラマイク部に付いて
いるLEDライト(5500K、照射角度30°)は、1mの距離
で200Luxの明るさである。これまでのNXCAMシリーズ
と同じく、ヘッドフォン端子のL・R・ステレオのモニターセ
レクトがあり、ステレオ時には、Mixとモノラルが選べる。
シーンに合わせてオート撮影できるシーンモードなど、
家庭用ハンディカム譲りの多機能も多数移植されて
いる。手振れ補正は、スタンダード・アクティブ(画質が
悪くなる)の2種類となる。拡張性については、SDI端子は無いものの、HDMI・ビデオ/オーディオOUT・USBがついて
おり、業務用モニターに出すことも可能。もちろんプロニュースのピクチャープロフィールは搭載している。6個のアサイ
ンボタンには空きが無く、最初から全て登録されている仕様となる。(必要に応じて登録し直す)



今回WiFiモジュールを内蔵しており、スマートフォンから、モニターリングとズーム、
アイリス、RECがコントロール出来るが、WiFiリモートを使用中に本体の操作が一
切受け付けない。もちろん、オーディオ関係もプロ使用を前提にした2chのXLR
入力で、それぞれ外部入力と内臓マイクの切り替えが可能である。

みなさん40倍の画像の良さに驚きながらも、様々な感想を頂きました。
LEDは思ったよりも明るく、使い勝手は良い。直進性の強いLEDだけに被写体
側はかなり眩しく、デュフューザーが欲しくなる。最新のハンディカムで、3.5インチの



液晶モニターは綺麗だが、解像度は92万ドットで高精細ではないのが気にはなる。全体的に機能が縮小した感があるのは、価格が安いので仕方が無いのかも知れない。

クイックスローがアサインボタンに最初から登録されており、登録ボタンを押すだけで、簡単に2.5倍のスロー撮影が出来る点は嬉しいかもしれない。

■岩波：今回のグループディスカッションはソニー製HXR-NX3である。40倍デジタルズームが話題になっている。外観は前回のHXR-NX5とほぼ同じような感じである。重量がやや軽くなっているようだ。しかしもう少し軽くしてほしいものだ。バッテリー装着で2kgは切って欲しい。筐体の基本がかなり以前から使われているもののようなのでないものねだりなのかも知れない。話題の40倍デジタルズームだが充分実用的だと思う。カメラの液晶画面で見る限り光学ズームからデジタルズームへの転換に気が付かないくらいである。色々な撮影現場で役立つのではないだろうか。最近のカメラの傾向として、内蔵メモリーを持たずカードメモリーのみとなってきている。カードメモリーも種々あり、値段も信頼性もさまざまである。悩ましいのは値段と信頼性が必ずしも一致しないことが多々あることである。理想としては64GB位のSSDメモリーを内蔵し、カードメモリーと平行で収録したり、あるいは内蔵メモリーに収録後カードメモリーにコピーし、以後の編集等の作業はカードメモリーを使うというやり方である。そうすれば編集終了までにカードメモリーに何かトラブルがあっても内蔵メモリーにはオリジナルが残っており安心である。コストの問題もあるだろうが、ユーザーとしては収録したものが必ず残っているという安心感は何者にも代えがたい。その他の使い勝手としては、撮影プロフィールも色々設定出来て良いと思う。アシの長いレンズが必要な時には重宝するカメラである。

■武藤：“HXR-NX3”の最大の魅力を感じたことは最大40倍の“全画素超解像ズーム”でした。デジタルズームにも関わらず、光学ズームにもおとらないほどの驚愕な解像度を実現できることは、機材の小型化がますます進み、フットワークが軽くなるとおもいました。残念だったのは、Wi-Fiでスマートフォンやタブレットでモニタリングできるまでは良かったのですが、そうするとカメラ側での操作ができなくなることです。最後に今回のディスカッションは、今後カメラの購入を検討しているユーザーにとって、大変意義のあるものであると思いました。ユーザーにとって事前調査、検証は、展示会だけでは十分な調査にはならない上、使い勝手はどうなのかという点は、実際にユーザー通して使用しながらの情報交換が大変参考になると思いました。今後もこういったディスカッションが増えることを望みます。

■匿名：今回のテーマ「ソニーの業務用カメラHXR-NX3を操作してみる」は、機材の更新を検討している我々にとって、まさにタイムリーでした。この機種の特長であるズーム機能はもちろん、説明書を読んだだけでは、恐らく使わなかったであろう便利な機能（スマートフォンを使ってのリモート操作など）を実際に体験できたので、「この機能があれば、いつものあの撮影がこんな風にレベルアップできる！」と具体的に思い描くことができました。また、各メーカーによる機能の違い、さらには日常の撮影における疑問点への具体的なアドバイスもいただけたので、とても勉強になりました。技術のプロとは言い難い我々にとって、機材について噛み砕いてわかりやすく説明して頂ける機会は得難く、非常に有意義でした。

